

〔No. 10〕 CAN 通信に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 高速 CAN 通信の場合、ECU により CAN-H 線、CAN-L 線に信号が出力されると、この信号電流は、両端の終端抵抗に流れ、終端抵抗による電圧降下により、CAN-H 線及び CAN-L 線の間には、レセシブ 2V、ドミナント 0V の電圧差が発生する。
- (2) CAN 通信の「メッセージ」のデータ構成のコントロール・フィールドは、正常受信信号を表し、正常に受信したときに受信ユニットが「1」を書き込んで返信する。
- (3) 高速 CAN 通信の場合、ECU により CAN バスの CAN-H 線、CAN-L 線に信号が出力されると、この信号電流は、CAN-L 線と CAN-H 線に設けられた抵抗により、CAN-L 線及び CAN-H 線の間には、レセシブ 1.5V、ドミナント 3V の電圧差が発生する。
- (4) CAN バスを構成する信号線には、耐ノイズ性の高いツイスト・ペア線が用いられ、信号線の端にある終端抵抗は、通信信号を安定化させるために装着されている。

答 (4)

- (1) レセシブ 0V、ドミナント 2V
- (2) コントロール・フィールドはメッセージの信号量を表す
- (3) 低速 CAN 通信の説明